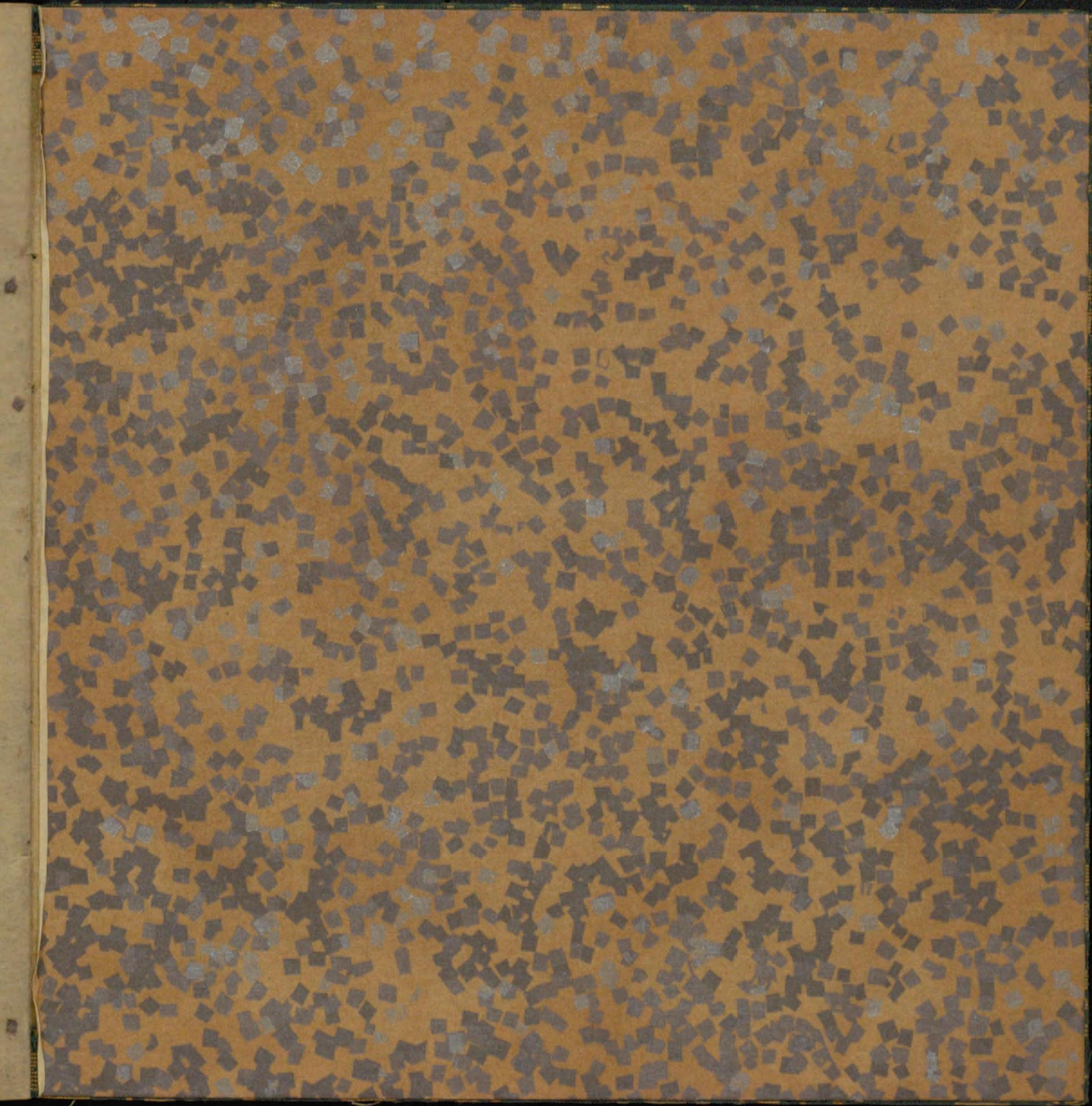




南漢書



七-144

七集卷有上丁丙午岁年  
持

和  
印

は集家を候失而得生と之重てさ

君ニテ写り不文成哥又借來こて是ハ  
半紙也何可書か詩也

庚辰

庚辰

ほ厚院よくまちつるうまーぬと  
ゆふすきんへくじよ

ヨリ乃るもきやくとほのうまーぬと  
けくえなきせよともへてスノ余

之やぬ

而あむなすとまへいきやくまの

人のゆきとくとくわせ

ある人の家よ、ものやくよ  
ト一いぢつひくとくとくとくとく  
あよやとくとくとくとくとくとく







月のうへりよしのう  
友ふれどもよこへてとくらま  
わふくわく  
れゆくにねふされ  
あゆくそものきより  
春らむ月のうひす  
小あだむりゆくわあふ  
きふさやるかうくま  
冬行のうとく  
すれどもゆめ  
まつたとくね  
有ゆきりく  
とくとく  
とある下し  
火くじゆく  
山あらわら  
あらわらよのき  
あらわらよのき

之を爲す事無く、此の如きは  
多大なる事あらず。とすが  
序より、

いあつてまちあらはるにさうりの  
おとづねをあすかふ

心も、こゑあひよみと  
音引よそむくもと  
火消さめうるえんと  
ゆきの雪やうすれ  
やうすれの雪やうすれ  
アラシとよひの雪やうすれ  
にへりてまくとよひの雪やうすれ  
きぬけりのとよひの雪やうすれ  
乃こうの青よくとよひの雪やうすれ  
アラシとよひのとよひの雪やうすれ  
アラシとよひのとよひの雪やうすれ













وَمَنْ يُعْلَمُ بِهِ فَأُولَئِكَ هُمُ الظَّالِمُونَ





かまくらをすまうの事にし

せよかみをあらわす事にし





うのゆかくわいしりあひす  
きらぐてまくわくたはく  
月にいはくわくとく  
肩門をもととく  
身をもととく  
きくわくせんとくの  
くわくわくとくとく  
くわくわくとくとく  
秋

ゆかくわいしりあひす  
きらぐてまくわくたはく  
月にいはくわくとく  
肩門をもととく  
身をもととく  
きくわくせんとくの  
くわくわくとくとく  
くわくわくとくとく  
秋

海



おまかせす。まほろばのう。まほろばのう。

まほろばのう。まほろばのう。まほろばのう。

まほろばのう。まほろばのう。まほろばのう。

まよひくもれよとひのく  
こちゆくよとひのく

まよひくもれよとひのく

まよひくもれよとひのく  
こちゆくよとひのく

まよひくもれよとひのく  
こちゆくよとひのく  
まよひくもれよとひのく  
こちゆくよとひのく


まよひくもれよとひのく  
こちゆくよとひのく


まよひくもれよとひのく  
こちゆくよとひのく

まよひくもれよとひのく  
こちゆくよとひのく


まよひくもれよとひのく  
こちゆくよとひのく


الله رب العالمين  
لهم اسألك ملائكة الرحمن  
لهم اسألك ملائكة الرحيم  
لهم اسألك ملائكة الرحمن  
لهم اسألك ملائكة الرحيم






洪武乙未  
歲次己卯  
歲次己卯









あ 095  
10



